

シルバー さんむ

第 9 号

平成 27 年 1 月

公益社団法人

山武市シルバー人材センター

〒 289-1514 山武市松尾町松尾47-3

☎ 0479-86-6616

FAX 0479-80-8280 メール sammu@sjc.ne.jp

HP <http://www.sjc.ne.jp/sambu/>

平成 27 年新春号



11月21日・22日、参加者56名で静岡県伊東温泉へ親睦旅行に行ってきました。三嶋大社の境内にある国の天然記念物に指定されているキンモクセイの前で集合写真を撮りました。穏やかな天気にも恵まれ、終始和やかな親睦旅行となりました。



迎春
おめでとうございませう



会長 小川 憲治

会員の皆様はじめ、発注者ならびにご支援を頂いている皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

今年度においては昨年度に引き続き、会員数及び契約高とも順調な伸びを続けています。これは、会員の皆様の誠実な仕事ぶりを発注者の方々に評価して頂いた結果であり、「まちの便利屋さん」として市民の皆様に着してきてきている証ではないかと思えます。日頃の皆様の努力に、改めて御礼をのべさせていただきます。

さて、今年の干支の羊は、群れをなして行動し、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。シルバーもこれにあやかり、会員の皆様及び事務局が一丸となり、地域のニーズに合った役割を果たすべく努力していく所存ですので、関係者

皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。



「元気でオリンピックを迎えよう」



山武市長 椎名千収

歳をとりますと、高血圧ですとか高血糖ですとか、高いと言う字は良くないことの方が多いように思います。そもそも高齢だつて歓迎される言葉ではありません。おしなべて程々が宜しいようです。

と言うことで、植木のお手入れをなさる皆様には、高い所でのお仕事に慎重を期していただきたいと思えます。

昨年末の総選挙は自公の圧勝となりました。

アベノミクスへの期待が批判を上回ったということでしょう。その効果が地方へも早く及びますように景気が上向きますようにと、初日にお祈りしたところですが、日本の人口が減って地方が消滅すると言われます。日本人がいなくなってしまうと言うことでしょうか。大変なことになります。ここまで来ますと小手先の改革では何も解決できませんから、激痛が走るような大手術が待っているのかもしれない。自分の暮らしを守るのにも苦労している私たちですが、孫子が生きていかねばならない日本の未来を築くために、残っているエネルギーを存分に発揮しようではありませんか。

成田空港経済圏の一翼を担う山武市は、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックを積極的に応援してまいります。山武市にも多くの外国の方々がいらっしゃいます。心からのおもてなしをして差し上げたいと存じます。その担い手は私達の世代だとも言われています。

元気で二〇二〇年を迎えることを目標に、今年も精いっぱい若さを保って頑張ってくださいませう。

接遇講習会開催

会員が就業する中で、どの職種においても人と関わりの合いが生じます。人と人とのコミュニケーションの中で、相手に好感を持たれる対応を心がけることにより、お互いの関係が良好となればその後の就業も円滑に進むようになっていきます。そのためには、まず接遇とは何かを改めて知って貰い、その中から第三者との上手な接し方を専門家から習得し、就業だけでなく日々の生活にも活用することで、より充実した毎日を送る事を目的とし開催しました。

その講習会に、この八月、千葉情報経理専門学校から受け入れた実習生が受講して感じた感想を紹介します。



「山武市シルバー人材センターの

接遇講習会を受けて」

今回、市民として参加した実習生です。

八月二十六日、「接遇講習会」として、東芝OAコンサルタント(株) 指田佳代子様が講演を

OAコンサルタント(株) 指田佳代子様が講演をされました。講習会ということで、会場はやや重苦しい空気ではありましたが、お隣や、近席の方と【一分間コミュニケーション】をとることで、和やかに講習会が進んでいきました。この【一分間コミュニケーション】のおかげで、会員さんと簡単ではありますが、お話をすることができました。また会員さん同士が接すること、会員同士のつながりが、より芽生えたようにも感じました。コミュニケーションの大切さを実感です。

講演中、会員の方々は真剣そのもので、その集中力には驚かされました。講習会・セミナー等では、知っていることも多くありますが、「知っている」から「できる」へのシフトチェンジが大切です。そして、「できていたつもり」の自分を知ること大切であると感じました。

私も含め、参加された会員の方々、今回参加できなかった会員の方々も、ぜひ「行動変化のきっかけ作り」としてみてはいかがでしょうか。講習会内容のまとめ

①【コミュニケーション】互いに意思、感情、思考、知識を伝え合うこと。

※「伝えたつもり(・・・)」 「わかったつもり(・・・)」にならず、確認することも大切。

※伝えたい内容の【全体像】↓【詳細】の順で伝える。

②【満足】期待以上のこと

※【あたりまえ】伝えたとおりに、

【クレーム】伝えたとおりにならない

※【不快】↓【不満】↓【クレーム】
③【接遇】接して、遇する。↓大切にもてなすこと
参加された会員さんからも大変好評でした。定期的な開催を予定したいと思えます。

役員視察研修会

九月二十六日、役員・職員・就業開拓員・女性部会委員の計二十名で、茨城県石岡市地方広域シルバー人材センターへ視察研修に伺いました。

今回の研修のテーマは「独自事業の運営」についてです。

「石岡市地方広域シルバー人材センター」は、石岡市と小美玉市の二つの市が広域センターとして一緒に事業運営を行っています。独自事業が盛んなセンターで、

花苗栽培や産地直売所運営、びん詰食品製造事業の他、全部で五つの独自事業を実施しています。当センターも今年度は女性会員の手作り小物のすみれサークルを立ち上げ、次年度は野菜作りと販売を実施します。この研修内容を活かし、会員の皆さんと共に成功させていきたいです。



普及啓発促進月間への取り組み

第七回会員作品展示会

広報委員 川島 房枝

第七回会員作品展が、松尾ふれあい館多目的ホールにて十月二十一日〜二十四日の四日間で今年も開催されました。

書道の部は八点出展され、墨の匂いが心地よく、山武地区の大関さんの書画「風」は濃淡で画かれ見事でした。

写真の部、成東地区の仲村さんの「二輪草」に「咲いたからには 散らさでおくれ あなたが頼りで育つ花」と、二輪の花を夫婦にたとえた素敵な句が添えてあり、とても粋でしやれた句で幸せなご夫婦の姿が垣間見られました。私も写真をかじったことがありますので、一瞬の出来事を撮る喜びは何ものにも替えがたい喜びがあります。これからは躍動する作品を期待しています。

手工芸の部では、力作ぞろいで畳一枚の板に「アナと雪の女王」「妖怪ウォッチ」が描かれています。会場に一步足を踏み入れた瞬間、驚かされました。また、成東地区の谷上さんのパンフラーの綺麗なこと。更には山武地区の後藤さんの布地蔵は作り手のほのぼのとした心優しさが溢れています。

このように素晴らしい作品を見せていただき、ライフワークにしている皆様を尊敬いたします。

全部紹介することが出来ませんでした。来年も素敵な作品に出会えることを楽しみにしています。(主な展示作品は背表紙に掲載) 最後に裏方をして下さった会員有志の方職員の皆様、ありがとうございました。



経験交流大会開催

十月二十二日、松尾ふれあい館にて経験交流大会を開催しました。今回で二回目となりますが、会員自身が他の会員や市民の方にシルバー人材センターでの就業や想いを発表しました。今年の発表者と題名

齊藤 睦生氏 『出逢い カバンと絵手紙』

高宮 清氏 『福分 今の自分に感謝して』
伴 嘉章氏 『あいさつ』
A氏 『会員となつて、思う事、願う事、望む事』

また、基調講演として東金市シルバー人材センター前会長佐藤勇次氏『私とシルバー 独自事業を立ち上げて』と題し、東金市シルバー人材センターで行っているウコン栽培やサツマイモ作りの事や、独自事業は仲間づくりを第一優先とし、就業につながる仲間作りの場であるなどのお話をいただきました。



高宮 清氏



佐藤勇次氏



伴 嘉章氏



齊藤 睦生氏

まつおこども園園児交流会に参加

広報委員 鈴木なつ

十月十七日まつおこども園にて年長児との交流会が行われました。

当日の交流会は年長児「にじ組」「そら組」の各教室に参加会員七名ずつに分かれ入りました。先生の挨拶、会員の自己紹介、園児たちの「よろしくお願いします。」の挨拶から始まりました。

今回は、日本伝統の和紙を子供たちに手に取って感じてもらえるよう、和紙での「イカ」作りです。最初に手順の説明があり、会員は園児のそばで声をかけたり、手伝ってあげたりして、胴体や足、エンペラを糊付けして、イカの完成。最後に、魚の形になっている好きな色を選び、自分の名前を書きました。カラフルなイカが出来上がり、「できた、できた」と声をはり上げ、喜びの笑顔でいっぱいでした。

次は、遊戯室に移動して、一緒に「昔遊び」です。お手玉・コマ・けん玉・輪投げ・ヨーヨー・竹とんぼ・紙風船等々、興味あるものに駆け寄り、大はしゃぎで遊んでいる様は、圧倒されてしまうほどでした。会員もそれぞれの遊びに加わり、昔遊んだ頃が懐かしく一緒に遊びまわってしまいました。

最後に子ども達と全員で記念写真を撮り、お礼にと童謡「赤とんぼ」の合唱と手作りの

コースターのお土産を頂き、「ありがとうございました。」の元気な声を聞きながら、楽しかったひと時に思い出が深くなりました。



山武市健康福祉まつり

広報委員 新田 博

第九回山武市健康福祉まつりが、十月二十六日、さんぶの森交流センターあららぎ館広場に開催されました。我々役職員及びボランティア会員の皆さんが八時に集合し、ティッシュとリーフレット配布の準備及びバザーに出展する品物やすみれサークルの手作り品の陳列に大忙しでした。九時オープンと同時にティッシュとリーフレットの配布そしてアンケートへのインタビューと、新聞記者顔負け？で頑張っていました。又女性会員の皆さんはバザーの販売に大奮闘でした。お客様の苦情、注文にも明るく対応し、今後の製品作りに役立つかも？

ボランティア会員の皆さん、役職員の皆さん、大変お疲れ様でした。



山武市産業まつり

広報委員 樋口勝利



山武市主催の産業まつりが十一月二十三日に、さんぶの森あららぎ館前広場で行われました。

当シルバー人材センターでは、役職員、会員有志二十数名で、会場に訪れた市民の皆さんに、独自事業のすみれサークルの皆さんの作品等の販売・リーフレット、ティッシュの配布をしながらPR活動をいたしました。

すみれサークルのガゼ帽子は好評で、完売でした。帽子を買って頂いたお客さんが、「すみれサークル」に入会したいので、シルバー会員になります、と言っていたきました。

当日は、天気もよく、お揃いのジャンパーでPR活動に参加して戴いた皆さん、ありがとうございました。オライはすぬまのいわし井美味しかったです。

女性部会主催 料理講習会

女性部会委員 藤崎 きみ子

暦も残り一枚のみとなって、気忙しい月を目前の十一月二十八日、女性会員の料理講習会が開催されました。料理講習会の前に市の健康支援課の山本さんより口腔衛生についての講話がありました。近頃、誤嚥性（ごえんせい）になる言葉を時々耳にすることから、加齢とともに今まで何事もなく過ごせたことが一つ一つ困難になる年齢であることに改めて気付かされ、誰にとっても大切な講義であったように思われます。

次に料理実習があり、減塩と咀嚼（そしゃく）が考慮されたメニューが準備されました。調理室に移動された皆さんはエプロンを付けるなり、即「主婦」の感覚になっていたように見えました。同じ材料を使って、グループごとに料理を完成させること。説明が終わると皆さんは手際よく和気あいあいと仕上げられ、盛り付けなどにそれぞれ工夫が見られ個性があつてとても勉強になりました。出来上がりの試食もまた楽しく、一品ごとの良しあしなどを語りながら…

私は初めての参加でしたが、とても和やかな雰囲気だったので時のたつのも忘れる程でした。



親睦旅行に参加して

旅行クラブ 木志 正

今回の親睦旅行は、十一月としては珍しく雨天が多い中で、日頃の行いが良いせいかな晴天に恵まれました。

今年の旅行はどんな旅行になるのかと思いを寄せて、白幡の待ち合わせ場所に向かいました。東金有料に入り樋口副会長のあいさつによりこれから旅行の始まりです。車窓から眺める山々の景色、紅葉が美しく、心洗われる想いに浸りました。そんな景色を眺めながら、バスの中は、お酒やつまみが配られ、カラオケも始まり旅行気分も最高潮の内アサヒビール工場に到着、一日の生産量が三七〇万本という

説明に驚愕、「一体誰がこんなに飲むのかな。」出来立てのビールに皆美味そう。

続いて三嶋大社の見学、宇佐美でのミカン狩りを終え「伊東温泉・聚楽」に到着となりました。温泉に浸かりこれから楽しい宴会です。

河野さんの得意

の司会により宴会がスタート、カラオケや会員同士親睦を深める囲いができていました。



名残惜しいが宴会も終了に近づき最後は思い出に残る炭坑節の踊りを皆で踊りました。



二日目は、天気も最高、世界遺産になった雄大な富士を見ることができ眩しいほどの輝きに幸せを実感できました。

この旅行は、シルバー人材センターでの会員全員での親睦を図る唯一の行事です。地区の壁を解き、日頃合ったことのない会員との談に会員同士の親睦が生まれ、日頃の就業に役立つものと思えますので多くの会員に参加してもらいたいものです。

最後に今回の旅行を企画・手配をしていただいた方々に、参加していただいた皆さんと共に感謝申し上げます。ありがとうございました。

俳句

年金を 速歩でくらす 里の秋

会員 仲村 敏雄

春立つや 畦色付くも 水雨空

風立つや 祖先の植えし 夏水仙

会員 戸村 茂昭

短歌

朝日受け さざんかの花 輝くを

道行く我は ふり返りくる

犬山の 城の紅葉を 鮮やかに

木曾川の流れ 映して清けし

赤白に 枝重く垂れ 咲く萩の

におうがごとし 山の辺の里

会員 土屋 敦保

菩提寺で

えりを正して 新年の

若き僧の 読経を聞く

会員 仲村 敏雄



戸村茂昭



仲村敏雄



野口助次郎



関口憲一



相馬昭子



大関利勝



田辺英夫



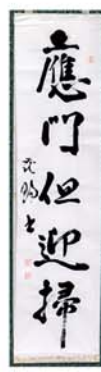
樋口勝利



土屋敦保



芹川鼎



藤田賢一



藤崎きみ子



竹中康憲



小笠原トシ子



長島良雄



渡辺しげ



片岡功司



後藤玲子



鈴木なつ



伊藤美佐子



加藤法枝



大関利勝



倉本米子



谷上緑



年長児

まつおこども園



高林千代美

編集後記

新年明けまして

おめでとうございます。

シルバー「さんむ」第9号をお届けします。

旧年中は会員の皆様のご協力ありがとうございました。シルバー人材センターの知名度が高くなり活動の幅も多種多様に広がり浸透しつつあると感じます。今年も健康に留意されましてますますご活躍ください。

(広報委員 守屋諄子)